

中期計画の策定にあたって  
令和6年4月1日～令和12年3月31日  
創立90周年に向けて

現在、我が国は急速に少子高齢化が進み、2041年には18歳人口は2023年度入試より27.1%少ない約80万人まで減少すると予想されています。一方、AIやビッグデータといった技術の急速な進歩により「Society 5.0」と言われる超スマート社会が到来し、人・モノ・情報が国境を越えて行き交うグローバル化が急速に進んでいます。このような社会的状況の中で、幼稚園から短期大学までを擁する昭和学院は、建学の精神、教育方針、に基づき、適切なガバナンスを確保して総合学園としての使命を果たしていくために、各設置学校においてそれぞれの理念や教育目標等を定め、時代を先導し持続的な発展を牽引できる人材、社会に新たな価値を創出できる人材の育成に努めてまいります。

私たち昭和学院は、学生・生徒・児童・園児の特性や多様性を前提として、学習者視点に立ち、誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、一人一人の可能性が最大限に引き出され、学生・生徒・児童・園児の一人一人の多様な幸せはもとより社会全体の幸せが実現されるように、努力をしております。

新時代にふさわしい教育を提供するべく、施設の充実を始めとし、教育改革に取り組み、質の高い教育を提供してまいります。

今回、2040年に創立90周年を迎える私たち昭和学院は、6年間の中期的な計画を策定・公表し、学生・生徒・児童・園児・保護者の皆様をはじめとする、様々なステークホルダーに対し、教育、研究及び社会貢献の機能を最大化し、価値の向上を目指していきます。経営陣と教職員が中期的な計画を共有し、教職員からも改革の実現に際して積極的な提案を受けるなど法人全体の取組みを徹底します。

## I. 学校法人昭和学院

### 中期計画

#### 【中期計画の基本方針】

##### 1. 建学の精神と学院運営の理念

本学院では、創立者伊藤友作先生が定めた「明敏謙譲」を建学の精神として、「明朗にして健康で、自主性に富み、謙虚で個性豊かな人間」を育てます。

**明敏とは活力をもって未来を拓くこと一。**

**謙譲とは英知をもって社会に生きること一。**

建学の精神のもと本学院は、私学の特性を最大限に活かしながら、一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性を育むこと・そして、一人ひとりの可能性を大きく広げ、より高い自己を目指す向学心の育成に努めます。

##### 2. 財政

堅実な経営基盤を維持・向上させるために必要な財務戦略を立案・実行します。

「経営・財政の安定なくして、教育研究の充実・発展なし」を基本理念として、中期事業計画の実現を財政的に担保すると共に、部門独立採算を厳格化し、安定的財政基盤を確立します。

- (1) 入学定員の確保を前提とした学校(部門)別独立採算を厳格化し、法人全体として堅固な財政基盤を保持します。学校ごとに単年度収支を均衡させ、将来計画を実現するための資金を確保します。
- (2) 補助金等外部資金の有効利用に努めます。
- (3) 目的を明確にした戦略的広報活動を強化します。(入学定員の確保と寄付金の募集に繋がります)
- (4) 支出の中で大きなウェートを占める人件費を適正値にコントロールする(学校ごとに各教科の授業時間数に見合った教員数を見直し、中期計画の中で実行していく)ことが本法人の喫緊の課題です。各校人件費比率を50%未満に改善することが目標です。教育の質を担保しながらの取り組みですから、段階的に改善させることとします。具体的な数値目標を令和11年度には50%未満と定めます。  
人件費比率 人件費÷経常収入(概ね50%台)  
人件費依存率 人件費÷学生生徒児童等納付金 100%以下
- (5) 支出に対する費用対効果の検証および業務委託費等、支出の見直しを行います。
- (6) 寄付金の募集を行い、学校ごとに定めた目的のために利用します。
- (7) 目標未達成部門については、中期計画の見直しによる自助努力と法人による必要な支援措置を講じます。

### 3. 人事

学院の発展や中期計画の達成のため、教職員がやり甲斐を持ちながら能力を生かし活躍できる人事施策を推進します。

- (1) 設置校ごとに財政収支が均衡することを前提に適正な(授業時間数に見合った)人員数を定め配置します。
- (2) 持続的発展のため、有能な人材を適切な年代構成に配慮し、採用・育成するシステムを構築します。
- (3) 教員研修を充実させ、授業力アップに努めます。
- (4) 勤務時間 に関する意識改革と時間外勤務の抑制に努めます。

### 4. 施設設備

教育研究の維持向上と学生・生徒・児童・園児の安全を確保するため、計画的に施設設備を整備し、環境整備を図ります。

- (1) 学校法人の施設に要する経費は人件費と並び膨大なものとなるので、計画的に整備、保守、修繕を行うものとします。
- (2) 施設計画については、各校で計画している事業を法人で調整し、各年度の予算編成の中で、実施する事業を決定するものとします。
- (3) 実施予定の事業は優先順位を決め、学院各校共同で実施することとし、最大の効果と効率化、コストダウンを図ります。

(4) 基本金組入れ額を確保し、幕張キャンパス及び短期大学の改築・大規模改修に備えます。

## 5. ガバナンスの強化

本学院の教育目的及び研究目的は多岐にわたっており、それぞれに異なるステークホルダーが存在することを踏まえた上で、法人運営・教育研究活動の充実・高度化と透明性を確保します。

- (1) 自己点検や改善・改革に係わる情報及び保有する教育・研究をはじめとする各種情報を、刊行物やホームページ等を通じて積極的に公開することにより、学院内外の関係者及び社会に対する説明責任を果たします。
- (2) 全ての教育・研究活動、業務に関し、法令、寄附行為、学則並びに諸規程を遵守するよう組織的に取組みます。

## 令和6年度事業計画

### ①財政の健全化への取り組み

- ・経営改善計画の遂行を推進します。
- ・学校ごとに各教科の授業時間数に見合った教員数を見直し、採用事務にあたります。
- ・教育研究経費等、支出(委託契約を含む)の見直しを行い経費の削減に努めます。
- ・補助金の積極的、効果的な利用に努めます。

### ②時間外勤務削減への努力

- ・業務の見直しと改善を行い、職員配置の最適化を図ります。
- ・1年間の変形労働制を維持し、労働時間の柔軟性を保ちます。
- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)化推進による情報資源の共有と業務の効率化を図ります。

### ③昭和学院のブランド力向上

- ・新しい時代に適した戦略的広報活動を充実させ、競合他法人(他校)との差別化を図ります。
- ・法人、中高ホームページにて、最新の教育活動の情報発信に努めます。
- ・SDGs への取り組みとその教育的成果を公表します。

### ④ガバナンス強化とコンプライアンスの遵守

- ・積極的且つ正確な情報公開により、広く社会に信頼され開かれた学院を維持します。

### ⑤教育環境の維持改善

- ・施設設備の計画的な更新を行います。
- ・LED化を推進します。
- ・近い将来の改築、大規模改修のための資金の確保に努めます。

### 寄付金の募集

- ・寄付金募集の広報活動を強化します。